

みぽく

文部科学省  
エントランス  
企画展示

# 武器を アートに



Transforming Arms into Art  
Peace-building in Mozambique

モザンビークにおける平和構築

2020年1月7日[火] — 2月10日[月]

開催場所: 文部科学省エントランス (新庁舎2階)  
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

実施機関: 人間文化研究機構 国立民族学博物館

開催時間: 10:00~18:00

休館日: 土曜日・日曜日・祝日

観覧料: 無料



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology



# 武器を アートに

## モザンビークにおける平和構築 Transforming Arms into Art Peace-building in Mozambique

アフリカのモザンビークでは、1975年の独立後1992年まで続いた内戦の結果、戦争終了後も大量の武器が民間に残されました。この武器を農具と交換することで回収し、武装解除を進めるとともに、回収された銃器を用いてアートの作品を生み出し、平和を人びとの心に根づかせようという、TAE (Transformação de Armas em Enxadas / Transforming Arms into Plowshares) 「銃を鋤に」というプロジェクトが進められ、内戦後の平和構築のモデルとして注目を集めています。2012年、このプロジェクトの一環として、フィエル・ドス・サントス、クリストヴァオ・カニャヴァートの二人のアーティストの手で、日本に住む人びとへのメッセージを込めて4点の作品が制作され国立民族学博物館におさめられました。

この展示では、国立民族学博物館で収集した作品を展示し、アートを通じて平和を築く営みを紹介します。

### 【主な展示物】

#### ○実物展示

- ・《肘掛椅子》クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター) マプト市(モザンビーク) 2012年
- ・《フルートを吹く男》フィエル・ドス・サントス マプト市(モザンビーク) 2012年
- ・《ギターを弾く男》クリストヴァオ・カニャヴァート(ケスター) マプト市(モザンビーク) 2012年

#### ○映像番組

- ・「武器をアートに — モザンビークにおける平和構築」(上映時間 15分 50秒)

### 【関連イベント】

#### トークイベント

「武器をアートに—アフリカ・モザンビークにおける平和構築の営み」

登壇者：吉田憲司(国立民族学博物館長)

開催日時：令和2年1月20日(月) 18:30~19:45

開催場所：文部科学省情報ひろばラウンジ(旧庁舎1階)



## 文部科学省 情報ひろば

- 所在地 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
- 開館時間 月曜～金曜 10:00～18:00  
入館は閉館の30分前まで  
土曜日、日曜日、祝日、年末・年始休館
- 入館料 無料
- 交通案内 銀座線「虎ノ門駅」11番出口直結  
千代田線「霞ヶ関駅」A13番出口徒歩5分



国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

世界の人びとのくらしと文化にふれる世界最大の民族学博物館

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号

【開館時間】10:00～17:00(入館は16:30まで)【休館日】毎週水曜日

Tel: 06-6876-2151 Fax: 06-6875-0401 <http://www.minpaku.ac.jp/>

